

“誰もが安心して暮らせるまちづくり”

それをめざすのが、湯河原町地域福祉活動計画です。

「困っていることがあります…。」「何か役に立てることがあるでしょうか…。」

そんな願いや思いがつながって、みんなが笑顔でいられる町にしたい。



えがお 第11号

（第11号ラインナップ）

～はじめまして！「はたらつく・ゆがわら」です！～

県（小田原保健福祉事務所）の委託をうけて、令和元年8月から事業開始。就労支援準備事業と居住の安定確保事業を実施しています。

常勤・非常勤合せて4名のスタッフで運営がされています。

詳しくは裏面へ！



「はたらつく・ゆがわら」の目的や活動、どのような人達が利用しているか教えてください。

※ “えがお” は町民の皆様と協働で、身近な福祉を考える参画の場です。地域福祉活動計画推進・取り組み等を掲載。年2回（4月・10月）発行いたします。

発行：社会福祉法人湯河原町社会福祉協議会
令和2年4月発行

編集：湯河原町地域福祉活動計画推進委員会
湯河原町中央四丁目12番地5

電話：0465-62-3700／FAX：0465-62-5150

「はたらっく・ゆがわら」の取り組みとは？

離職期間が長く、就労経験が少ない人たち、地域で孤立し、他者との関係が希薄な人たちを対象に、さまざまなプログラムを通して、社会とのつながりを回復、生活・働く意欲を高めることをめざしています。

活動をとおして出会う人たちが、挨拶を交わすことから少しずつ関係を築いていきます。その後、社会への一歩となるボランティア体験や就労準備・実習を行います。就労した場合も定着（自立）にむけたサポートを継続いたします。

利用者に寄り添いながら、よりベストな道筋を拓いていくサポートを行っています。

「はたらっく・ゆがわら」のこだわり

☆地域で暮らし続けるための支援を心がけます。

☆「はたらっく・ゆがわら」が、ほっとする場、元気に楽しくなる場づくりをめざします。

☆地域の人たちの応援をいただきながら、大勢の力で支援を進めます。

ご挨拶 ～「はたらっく・ゆがわら」事業責任者 岡田百合子～

事業開始当初は、利用者それぞれを想定したプログラムを考えましたが、まずは皆が楽しく、心地よい時間を過ごしていただくことを一番の目的として、居場所サロンを中心とした取り組みを心掛けています。

居場所サロンの日は調理実習を実施。併せて「はたらっく食堂」を開設します。調理実習で作った料理はそちらに提供されます。

利用者は経験豊富な人が多く、手際よくテキパキと調理を行います。そして、食事に来られた人達と一緒にワイワイ賑やかに食事を楽しみます。日常生活で引きこもらないために、こうした場で複数の人達と関わる機会は大変貴重なものとなります。

これまで、居場所サロンではクリスマス会にむけた「ガーランドづくり」や、現在はぞうり作り（写真）等、皆さん、馴れない作業に苦戦しながらも、童心に帰って楽しみ、無事に完成することができました。

これから、湯河原町の事業所のご理解とご協力をいただきながら、福祉施設のボランティア活動や事業所見学・体験実習を考えています。一人でも多くの人々が、この地域で自分らしく暮らすことができることをめざします。

湯河原町の皆様、どうぞよろしくお願いいたします。



※ゆがわらフードコネクト、神奈川県社会福祉協議会のライフサポート事業から提供いただいた食品の一部は、「はたらっく・ゆがわら」の活動に役立てています。

小田原保健福祉事務所就労準備支援事業「はたらっく・ゆがわら」

○場所

湯河原町宮下 46-2 シャンブルロワイエ 101 号室 ※駅から徒歩 6 分

○連絡先 ※詳細等につきましては、こちらにお問い合わせください

電話：0465-20-3127 / FAX：0465-20-3813

○活動時間

月曜日～金曜日の 10 時～17 時 ※土日祭日はお休みです